

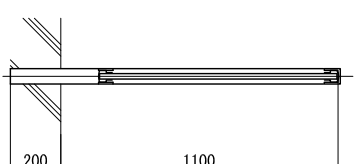
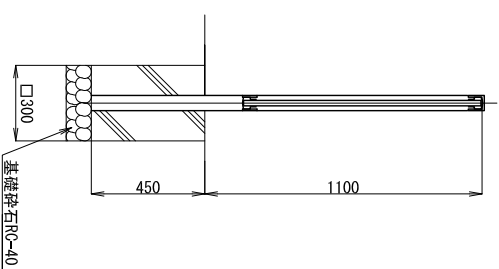
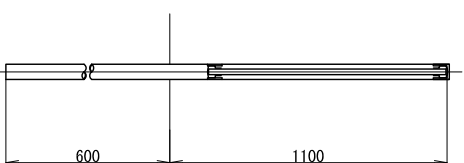
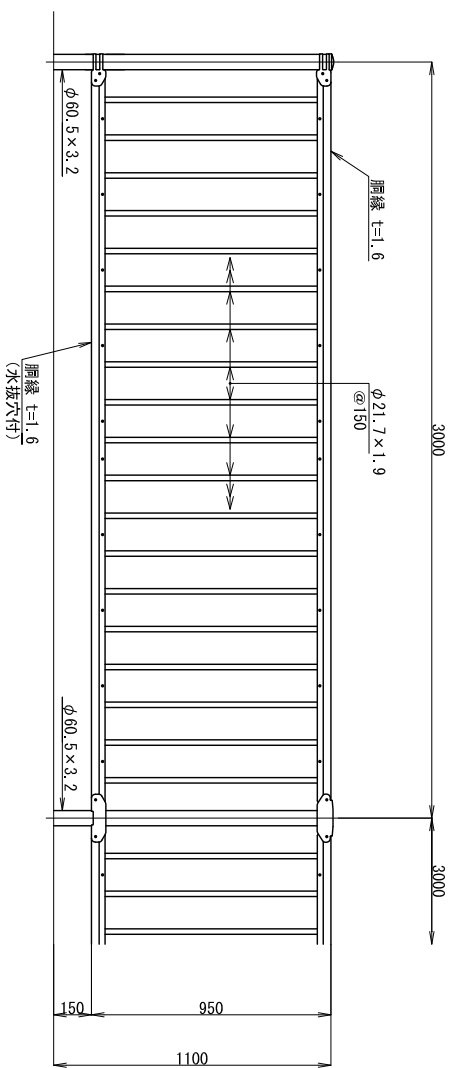
# 道路構造物標準図

## 1. 標準図

- 001 転落防止柵
- 002 横断防止柵
- 003 車止めバリカー
- 004 車線分離標
- 005 U型バリカー
- 006 反射板
- 007 反射矢印板
- 008 反射鋸
- 009 道路反射鏡
- 010 重力式擁壁(1)歩道部
- 011 重力式擁壁(2)歩道部
- 012 重力式擁壁(3)歩道部
- 013 重力式擁壁(4)車道部
- 014 重力式擁壁(5)車道部
- 015 重力式擁壁(6)車道部
- 016 官民境界
- 017 縁石(1)
- 018 縁石(2)
- 019 縁石(3)
- 020 縁石(4)
- 021 縁石(5)
- 022 縁石(6)
- 023 街渠(1)
- 024 街渠(2)
- 025 街渠(3)
- 026 U型側溝
- 027 U型側溝
- 028 L型側溝(1)
- 029 L型側溝(2)
- 030 L型側溝(3)
- 031 L型側溝(4)
- 032 街渠柵(1)
- 033 街渠柵(2)

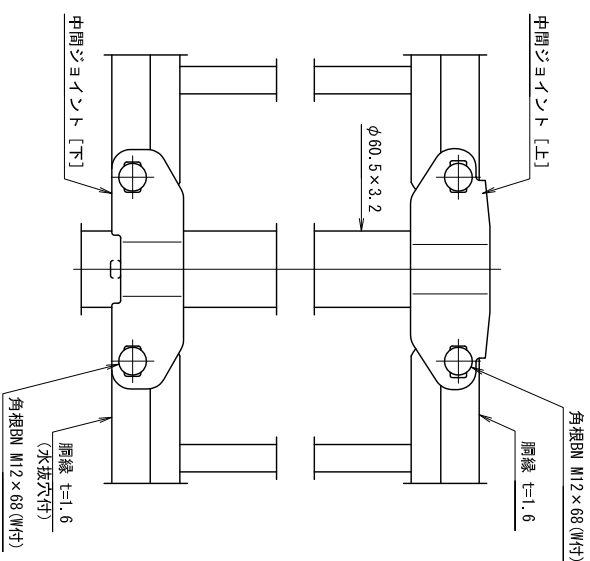
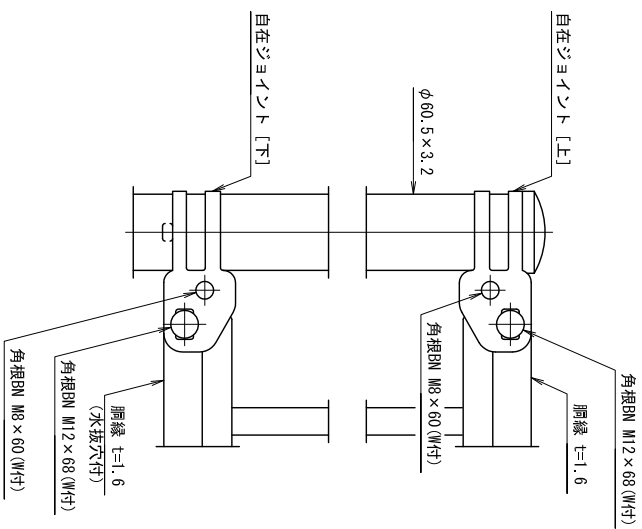
# 転落防止柵 H=1100

土中用 (E) 基礎ブロック用 (C) コンクリート建込用 (W)

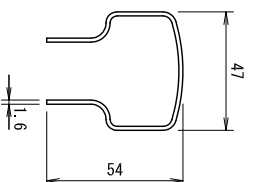


端末部取付図 S=1:4

中間部取付図 S=1:4



胴縁断面図 S=1:2



設計条件  
設計荷重・・・防塵槽の設置基準・同規格のP種に基づく。

備考  
1. 外装は亜鉛・アルミ・アクリル系樹脂粉末塗装とする。但し、ホルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。

001

道路構造物標準図

転落防止柵 H=1100

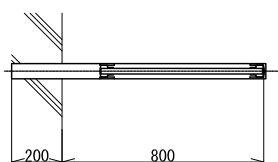
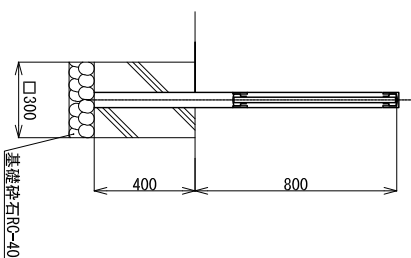
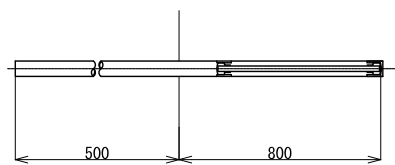
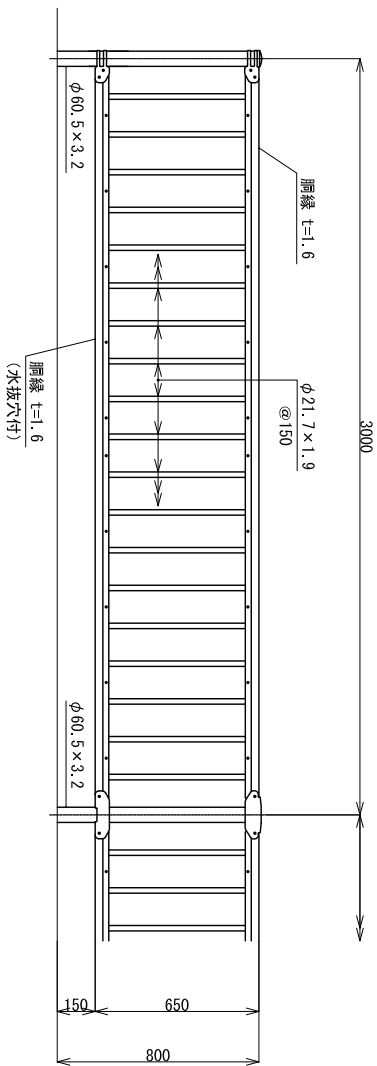
みち・みどり整備室

# 横断防止柵 H=800

土中用 (E)

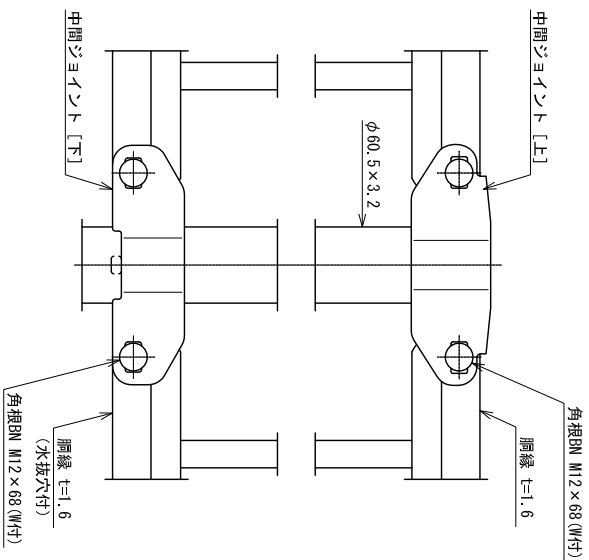
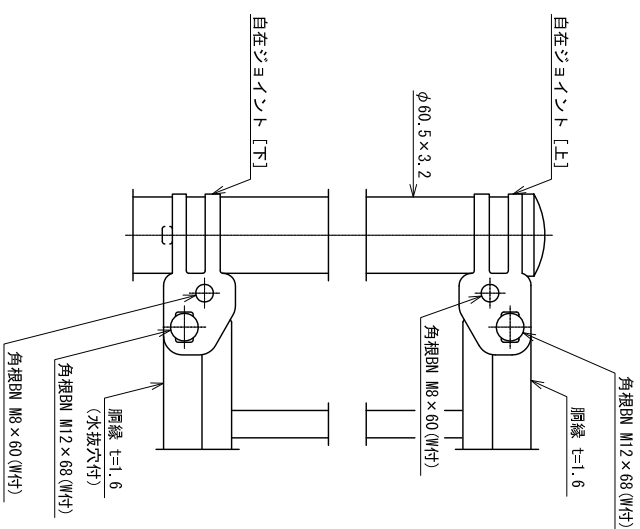
基礎ブロック用 (C)

コンクリート建込用 (W)



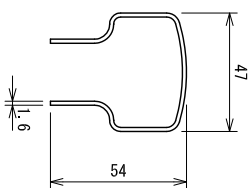
端末部取付図

中間部取付図



胴縁断面図

S=1:2



設計条件  
設計荷重・・・防眩柵の設置基準・同架敷のP種に基づく。

備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウムを含めつつの上塗り系樹脂塗料を塗布する。但し、ホルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。

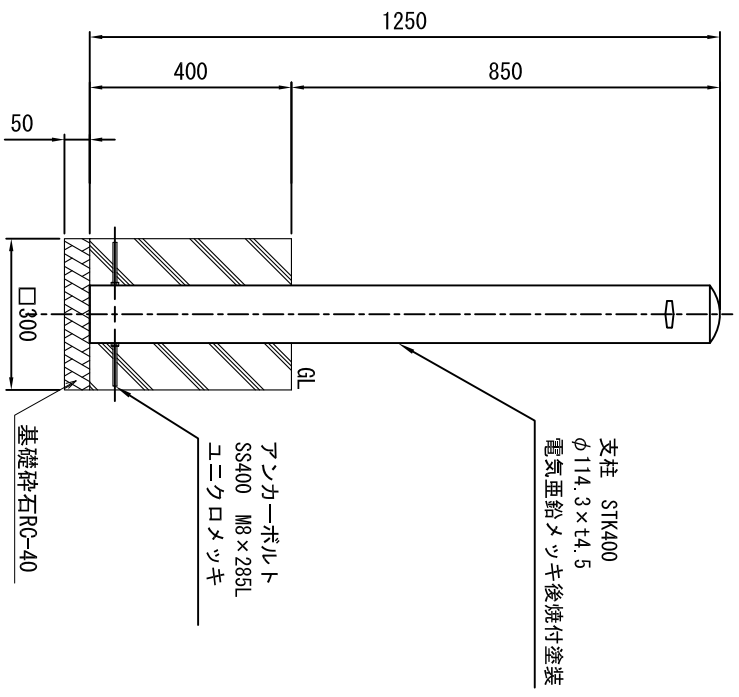
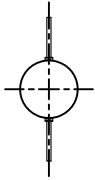
002

道路構造物標準図

横断防止柵 H=800

みち・みどり整備室

車止めﾊﾞﾘｶｰ



支柱 STK400  
 直径 114.3×t4.5  
 電氣亜鉛メッキ後焼付塗装

アンカーボルト  
 SS400 M8×285L  
 ユニクロメッキ

基礎砕石RC-40

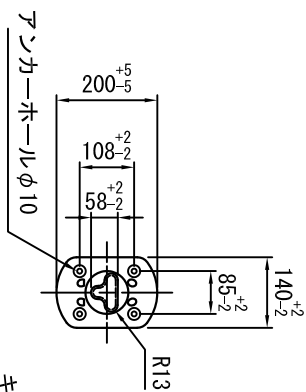
色	日塗工 : No
□ 黄	D17-70X 近似色
□ 白	DN-95 近似色

003

道路構造造物標準図
車止めﾊﾞﾘｶｰ H=850
みち・みどり整備室

車線分離標

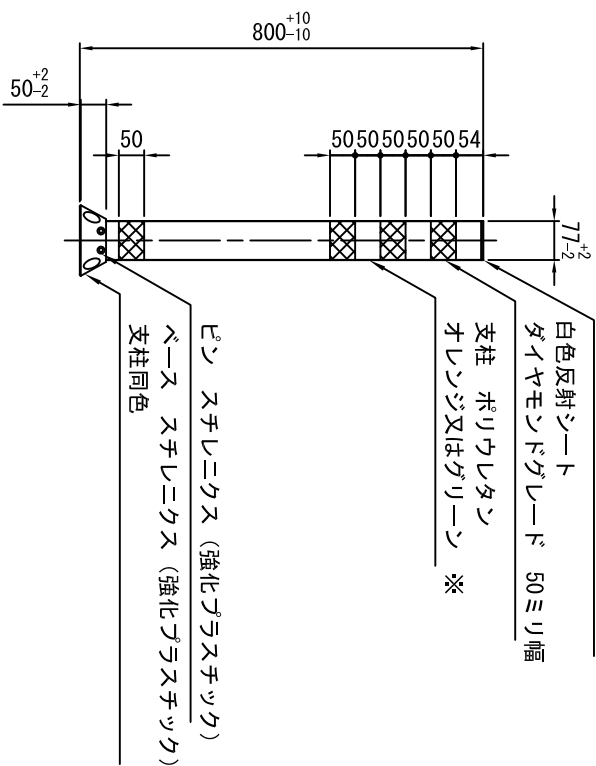
スリム<sup>®</sup>-S式



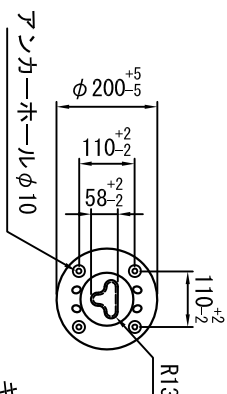
キャップ シリコンゴム 支柱同色

白色反射シート  
ダイヤモンドグレード 50ミリ幅

支柱 ポリウレタン  
オレンジ又はグリーン ※



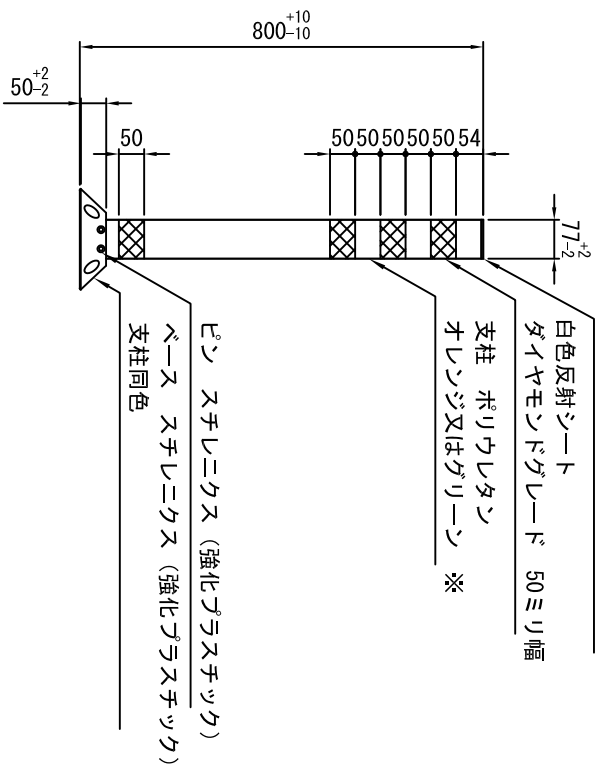
S<sup>®</sup>-S式



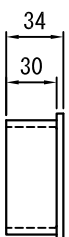
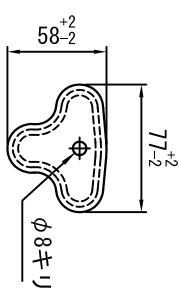
キャップ シリコンゴム 支柱同色

白色反射シート  
ダイヤモンドグレード 50ミリ幅

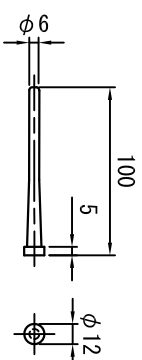
支柱 ポリウレタン  
オレンジ又はグリーン ※



※ オーダー色：ブラウン、イエロー



キャップ S=1:3



セットピン S=1:3

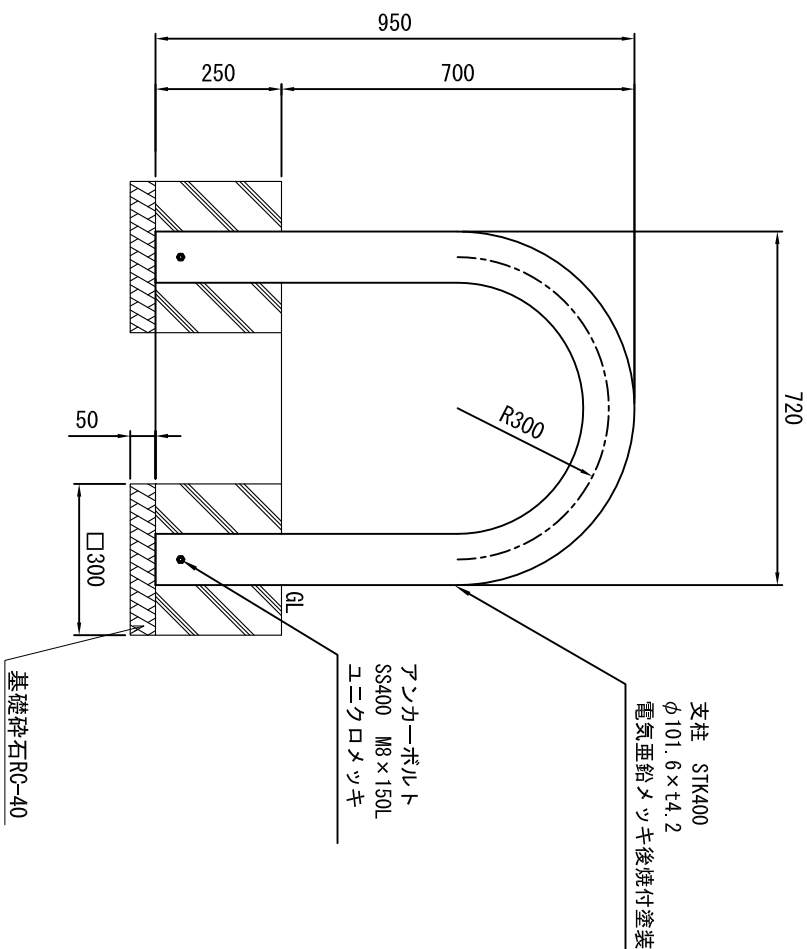
004

道路構造物標準図

車線分離標 H=800

みち・みどり整備室

U型バリカー



色	日塗工 : No
□ 黄	D17-70X 近似色
□ 白	DN-95 近似色

005

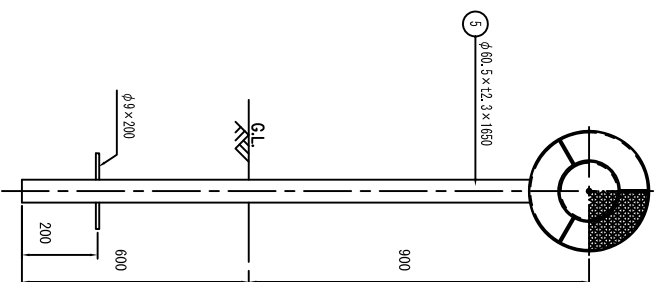
道路構造物標準図

U型バリカー H=700

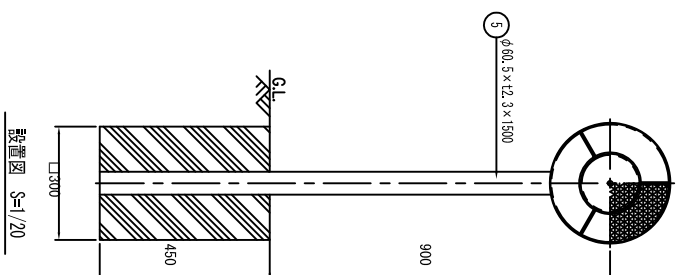
みち・みどり整備室

# 反射板

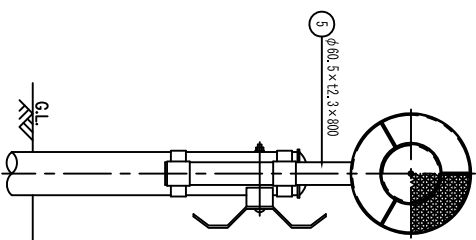
土中杆



コウキ基礎杆

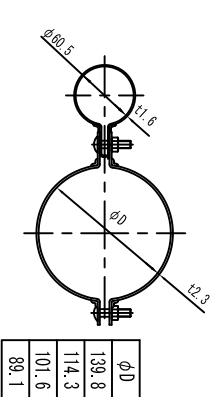


バリエーション等取付杆



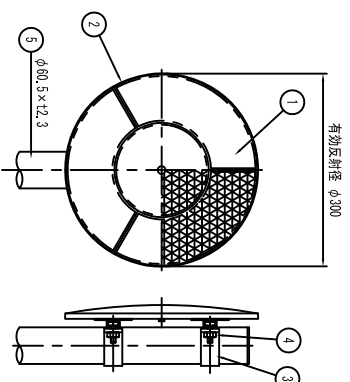
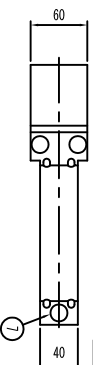
φ300 予リニエーター			
品番	品名	数量	材質
1	反射体	1	マタクリル樹脂(アクリル)
2	反射体取付枠	1	アルミニウム合金
3	バンド	2	アルミニウム合金
4	ボルト・ナット	2	(M3/8×32)
5	支柱	1	SK400 亜鉛めっき
6	親子バンド	(2)	SPHC
7	ボルト・ナット	(6)	(M8×35)

※ 白色反射体は、特殊塗料アスルツス使用



φD	139.8
	114.3
	101.6
	89.1

⑥ 親子バンド詳細図 S=1/8



反射部詳細図 S=1/8

006

道路構造物標準図

反射板 φ300

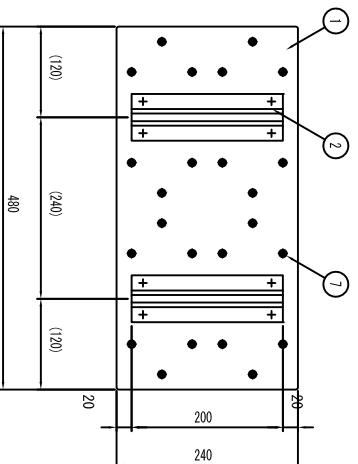
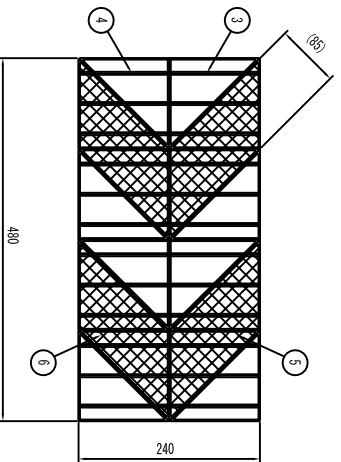
みち・みどり整備室



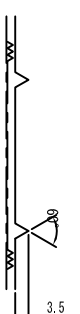
# 反射矢印板

反射板矢印				
品番	品名	数量	材質	備考
1	基板	1	アルミニウム合金	t1.2
2	スライドキャッチネル	1	アルミニウム合金	平リブ
3	反射体	4	メタクリル樹脂(ワカリル)	強光黄緑色
4	反射体	4	メタクリル樹脂(ワカリル)	強光赤色
5	反射体	4	メタクリル樹脂(ワカリル)	強光黄緑色
6	反射体	4	メタクリル樹脂(ワカリル)	強光赤色
7	止め輪	24	ハネ用ステンレス鋼	——

※反射体は、特殊強光ワカリルステンレス使用



姿図 S=1/10



反射体突起部詳細図 S=1/2

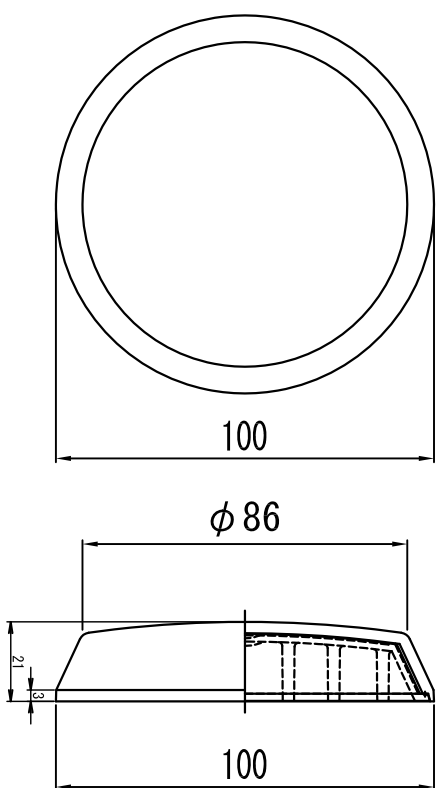
007

道路構造物標準図

反射矢印板

松原市都市整備部道路課

反射鋏



008

道路構造造物標準図

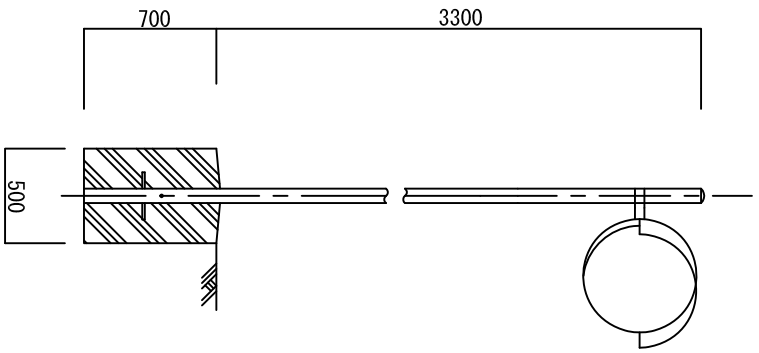
反射鋏

松原市都市整備部道路課

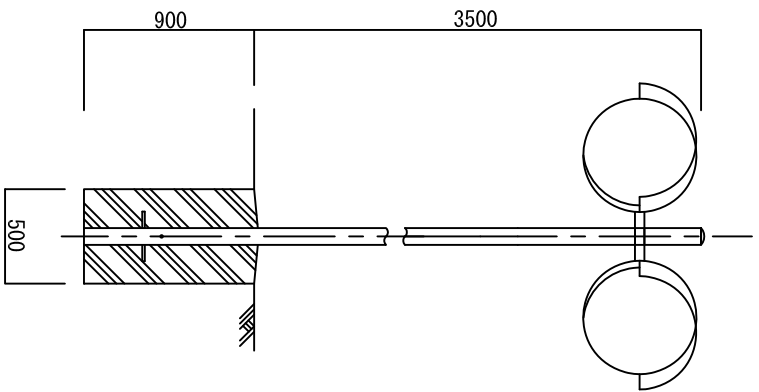
道路反射鏡

コンクリート基礎

φ600S・W  
φ800S

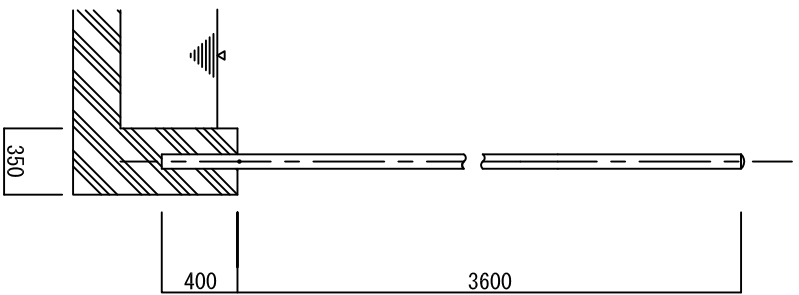


φ800W

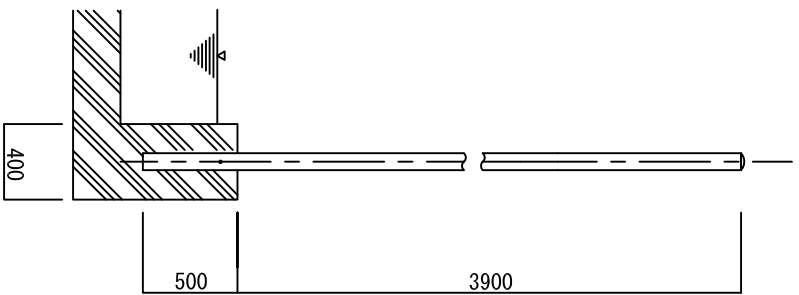


削孔基礎

φ600S・W  
φ800S



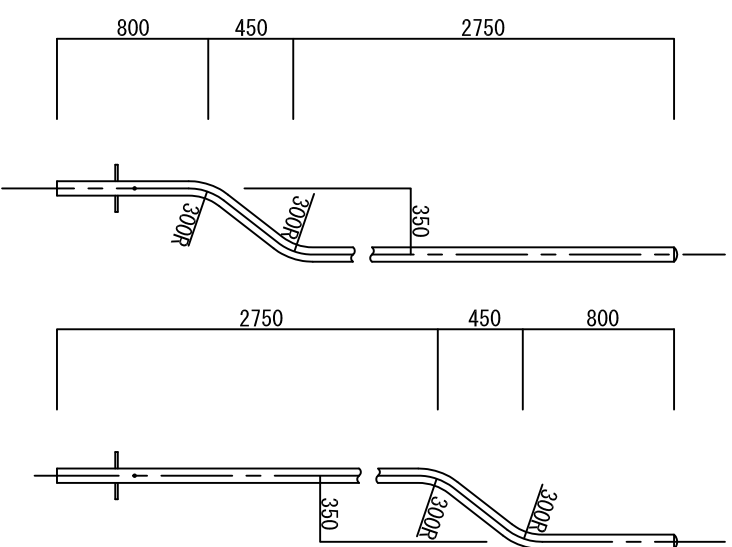
φ800W



支柱(曲柱)詳細図

下曲柱

上曲柱



※ 道路反射鏡支柱：φ76.3 3.2 t 地下垂鉛管に静電粉体塗装  
 ※ 道路反射鏡支柱：φ89.1 3.2 t 地下垂鉛管に静電粉体塗装(φ800Wのみ)

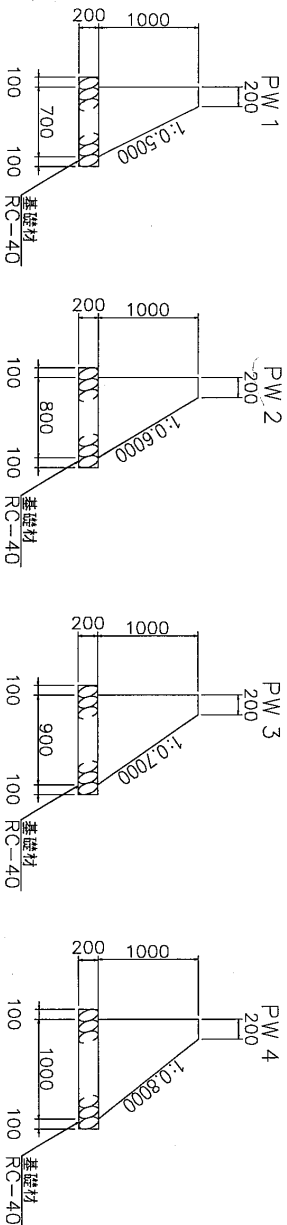
009

道路構造物標準図

道路反射鏡

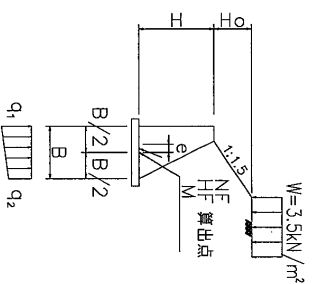
みち・みどり整備室

# 重力式擁壁 歩道部



数値表(1m当り)

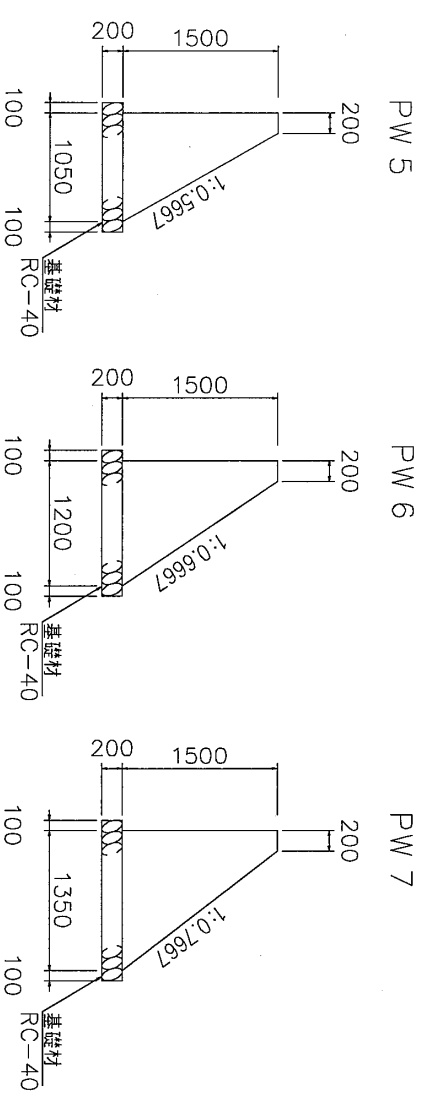
Qd (待容支持力) (KN/m <sup>2</sup> )	B (面幅) (m)	H <sub>0</sub> /H (高さ比)	NF (鉛直力) (KN)	HF (水平力) (KN)	M (モーメント) (KN・m)	e (偏心量) (m)	地盤反力(KN/m <sup>2</sup> )		FS (滑動安全率) (断面形状番号)	PW (断面形状番号)
							q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>		
300	0.70	水平	15.69	5.06	1.76	0.112	43.96	0.88	1.86	PW 1
		0.25	17.08	6.37	1.94	0.114	48.19	0.61	1.61	
		0.50	20.99	7.70	2.05	0.097	45.41	7.07	1.64	PW 2
150	0.90	0.75	22.13	8.62	2.12	0.096	47.58	7.75	1.54	PW 3
		1.00	26.58	9.76	1.97	0.074	44.14	14.92	1.64	PW 3
		0.70	15.69	5.06	1.76	0.112	43.96	0.88	1.55	PW 1
100	1.00	0.25	22.29	6.75	1.90	0.085	38.86	10.67	1.65	PW 3
		0.30	23.96	7.92	1.93	0.081	40.92	12.32	1.31	
		0.75	28.77	9.11	1.68	0.058	38.83	18.70	1.58	PW 4
50	0.80	1.00	30.26	10.02	1.63	0.054	40.04	20.47	1.51	PW 4
		水平	17.92	5.21	1.83	0.102	39.56	5.25	1.55	PW 2
		0.25	25.05	6.85	1.79	0.072	35.81	14.29	1.65	PW 4
100	1.00	0.50	27.06	8.08	1.73	0.064	37.44	16.68	1.51	PW 4
		水平	20.23	5.31	1.87	0.092	36.33	8.63	1.52	PW 3



- 注)
1. 使用にあたっては設計を熟読のこと。
  2. 重力式擁壁は、高さ許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
  3. 中間の設計条件に対しては、直近上証のものを使用すること。
  4. 擁壁の掘入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
  5. 水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所で、路面から20cmの位置で設け、VPφ75を使用すること。
  6. コンクリートの水平打継目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
  7. 擁壁前面のV型の切れ目を、切取目としてD16mmの間隔は5m以下とすること。
  8. 伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
  9. 伸縮目地は、舗装継ぎ目地を使用すること。

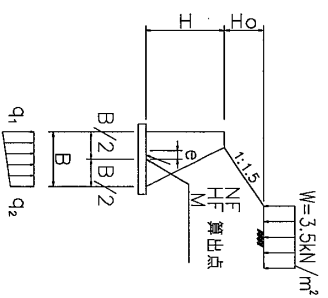
# 重力式擁壁 歩道部

H=1500



数値表(1m当り)

Qa (活荷重) (kN/m <sup>2</sup> )	B (底面幅) (m)	Ho/H (高さ比)	NF (鉛直力) (kN)	HF (水平力) (kN)	M (モーメント) (kN・m)	e (偏心量) (m)	地盤反力(kN/m <sup>2</sup> )		Fs (滑動安全率)	PW (断面形 状番号)
							q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>		
300	1.05	水平	33.97	10.58	5.84	0.172	64.12	0.60	1.93	PW 5
		0.25	37.83	13.86	6.55	0.173	71.65	0.40	1.64	
		0.50	47.25	16.97	6.93	0.147	68.23	10.52	1.67	
150	1.20	0.75	50.34	19.24	7.24	0.144	72.10	11.80	1.57	PW 6
		1.00	53.00	21.20	7.50	0.142	75.43	12.90	1.50	
		1.05	水平	33.97	10.58	5.84	0.172	64.12	0.60	
100	1.20	0.25	43.52	14.23	6.55	0.151	63.56	8.97	1.53	PW 6
		0.50	53.95	17.34	6.52	0.121	61.44	18.49	1.36	
		1.20	水平	38.87	10.82	6.08	0.157	57.74	7.04	



- 注)
1. 使用にあたっては解説を熟読のこと。
  2. 重力式擁壁は、高さ、許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
  3. 中面の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
  4. 擁壁の埋入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
  5. 水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所、路面から20cmの位置で設け、VPφ75を使用すること。
  6. コンクリートの水平打継目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
  7. 擁壁前面のV型の切れ目は、切戻し工地の間隔は5m以下とすること。
  8. 伸縮目地は、縦向きは10m以下とすること。
  9. 伸縮目地は、縦向きは縦向き目地を使用すること。

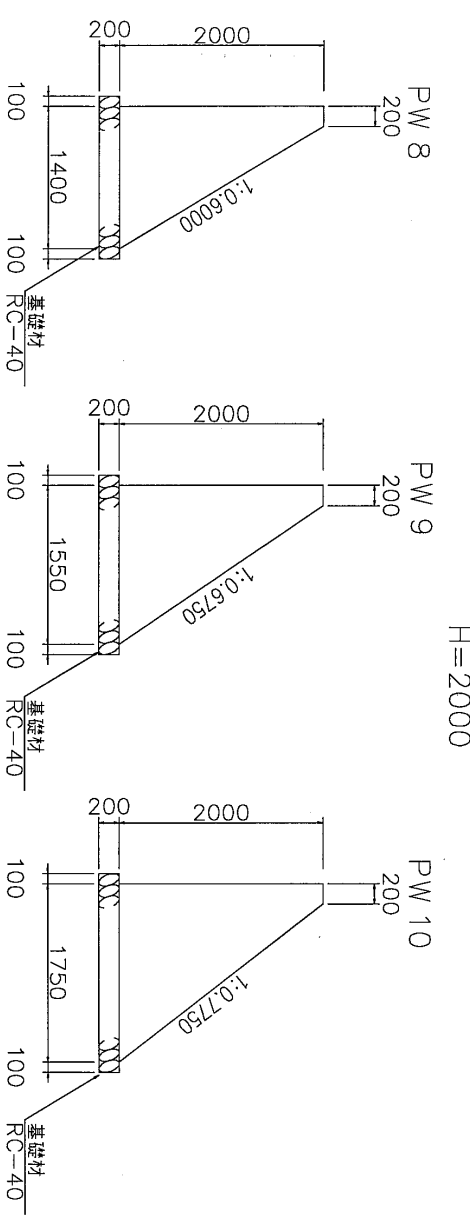
011

道路構造物標準図

重力式擁壁(2) 歩道部

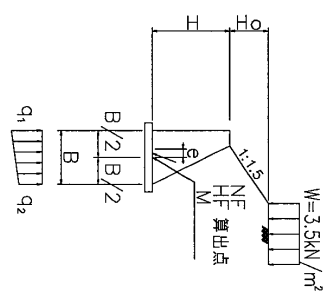
みち・みどり整備室

重力式擁壁 歩道部



数値表(1m当り)

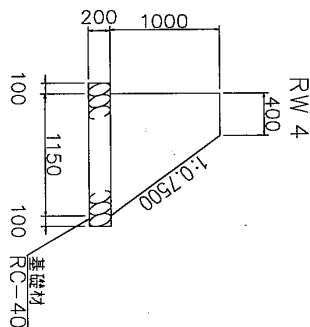
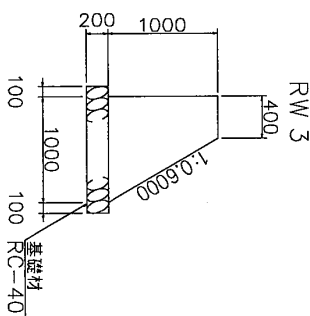
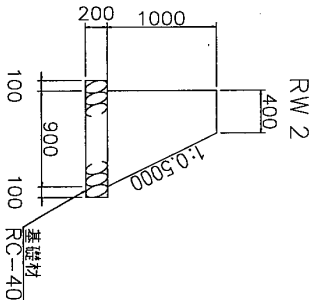
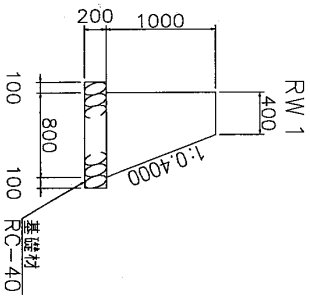
Qa (荷重支持力) (底面積) (KN/m <sup>2</sup> )	B (底面積) (高さ比) (m)	Ho/H (鉛直力) (KN)	NF (水平力) (KN)	M (モーメント) (KN・m)	e (偏心量) (m)	地盤反力(KN/m <sup>2</sup> )		Fs (摩擦安全率) (断面形状番号)	PW	
						q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>			
300	1.40	0.25	66.59	24.15	15.45	0.232	94.87	0.26	1.65	PW 8
	0.50	0.25	72.56	28.99	16.89	0.233	103.53	0.12	1.50	
	1.55	0.75	86.78	33.78	17.50	0.202	99.70	12.28	1.54	
	1.75	1.00	105.77	38.40	16.57	0.157	92.90	27.99	1.65	
	1.40	水平	59.04	18.03	13.64	0.231	83.91	0.43	1.97	
150	1.55	0.25	74.13	24.59	15.49	0.209	86.50	9.15	1.51	PW 9
	1.75	0.50	92.82	30.23	15.76	0.170	83.91	22.17	1.54	
	1.00	1.55	65.46	18.31	14.11	0.215	77.47	7.00	1.61	



- 注)
- 1.使用にあたっては設計を熟読のこと。
  - 2.重力式擁壁は、高さ、許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
  - 3.中面の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
  - 4.擁壁の掘入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
  - 5.水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所、路面から20cmの位置で設け、VPφ75を使用すること。
  - 6.コンクリートの水平打撃目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
  - 7.擁壁前面のV型の切れ目を持つ鉛直施工地の間隔は5m以下とすること。
  - 8.伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
  - 9.伸縮目地は遮音繊維質目地を使用すること。

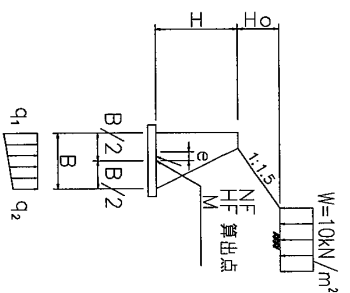
重力式擁壁 車道部

H=1000



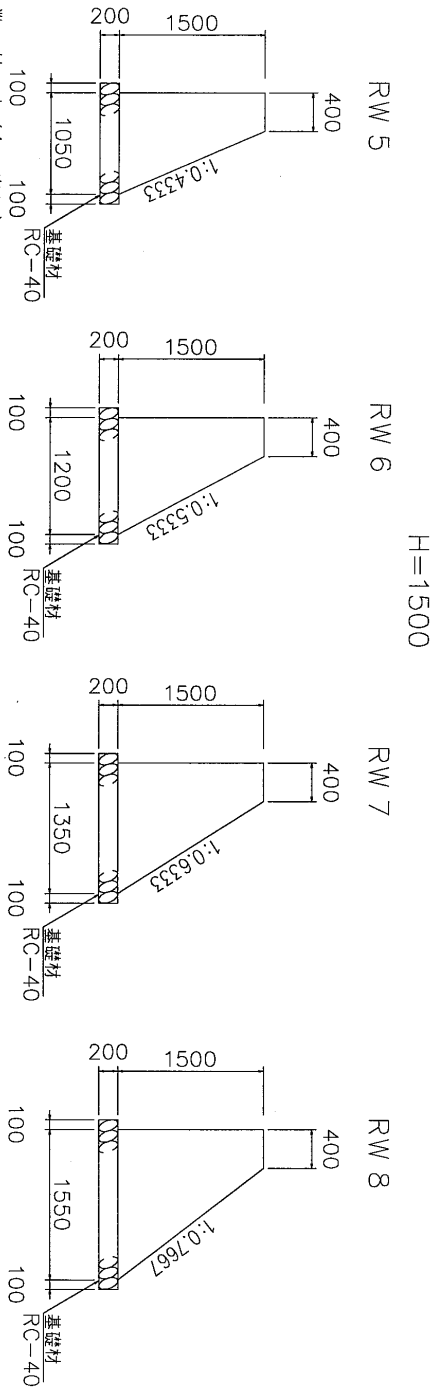
数値表 (1m当り)

Qo (許容支持力) (KN/m <sup>2</sup> )	B (底面幅) (m)	Ho/H (高さ比)	NF (鉛直力) (KN)	HF (水平力) (KN)	M (モーメント) (KN・m)	e (偏心量) (m)	地盤反力(KN/m <sup>2</sup> )		Fs (滑動安全率)	RW (断面形状番号)
							q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>		
300	0.80	水平	20.32	7.29	1.92	0.094	43.34	7.44	1.67	RW 1
		0.25	20.94	7.99	1.98	0.095	44.75	7.60	1.57	
		0.50	24.50	9.04	1.94	0.079	41.57	12.88	1.63	
	0.90	0.75	25.14	9.65	1.96	0.078	42.43	13.44	1.56	RW 2
		1.00	25.74	10.21	1.98	0.077	43.23	13.96	1.51	
		水平	22.96	7.59	1.89	0.082	39.49	11.54	1.51	RW 2
150	1.00	0.25	26.80	8.67	1.75	0.065	37.29	16.30	1.55	RW 3
		0.50	32.89	9.83	1.18	0.036	33.96	23.25	1.67	
		0.75	34.06	10.59	1.06	0.031	34.40	24.82	1.61	RW 4
	1.15	1.00	35.12	11.28	0.94	0.027	34.81	26.26	1.56	
		水平	30.10	8.01	1.48	0.049	32.90	19.46	1.69	
		0.25	31.59	8.99	1.32	0.042	33.47	21.48	1.58	RW 4
100	1.15	0.50	32.89	9.83	1.18	0.036	33.96	23.25	1.51	



- (注)
1. 使用にあたっては解説を熟読のこと。
  2. 重力式擁壁は、高さ、許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
  3. 中間の設計条件に對しては、直近上位のものを使用すること。
  4. 擁壁の根入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
  5. 水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所、路面から50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
  6. コンクリートの水平打継目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
  7. 擁壁前面のV型の切れ目を持つ鉛直施工地の間隔は5m以下とすること。
  8. 伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
  9. 伸縮目地は遅青繊維質目地を使用すること。

重力式擁壁 車道部

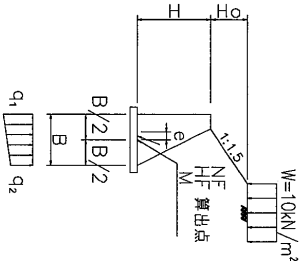


数値表(1m当り)

Q <sub>a</sub> (背 支 持 力) (KN/m <sup>2</sup> )	B (底 面 積) (m)	H <sub>o</sub> /H (高 き 比)	NF (鉛 直 力) (KN)	HF (水 平 力) (KN)	M (モー メント) (KN・m)	e (偏 心 量) (m)	地盤反力(KN/m <sup>2</sup> )		F <sub>s</sub> (滑 動 安 全 率)	RW (断 面 形 状 番 号)
							q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>		
300	1.05	水平	38.08	13.79	6.33	0.166	70.70	1.83	1.66	RW 5
	1.20	0.25	40.21	16.04	6.80	0.169	75.27	1.31	1.50	RW 6
150	1.20	0.50	48.44	18.71	7.01	0.145	69.59	1.14	1.35	RW 6
	1.35	0.75	57.72	21.23	6.63	0.115	64.59	20.93	1.63	RW 7
100	1.20	1.00	59.84	22.87	6.69	0.112	66.35	22.30	1.57	RW 7
	1.35	水平	43.53	14.31	6.44	0.148	63.12	9.43	1.52	RW 6
150	1.35	0.25	52.58	17.26	6.49	0.123	60.30	17.59	1.52	RW 7
	1.55	0.50	65.12	20.07	5.47	0.084	55.68	28.35	1.62	RW 8
100	1.35	0.75	68.28	22.08	5.24	0.077	57.14	30.96	1.55	RW 8
	1.55	水平	49.23	14.68	6.40	0.130	57.52	15.41	1.51	RW 7
	1.55	0.25	61.47	17.74	5.74	0.093	54.00	25.33	1.36	RW 8

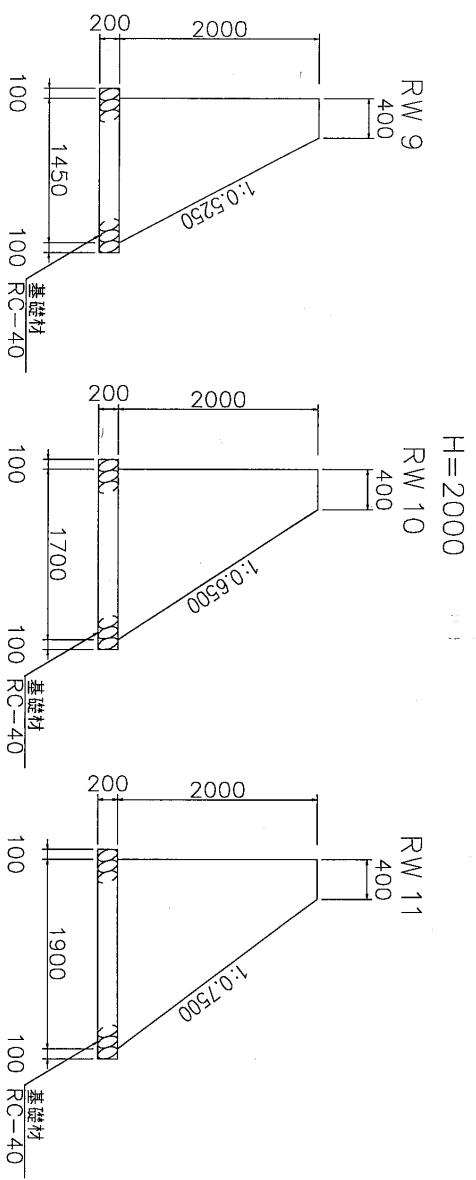
注)

1. 使用にあたっては設計者熟識のこと。
2. 重力式擁壁は、適き許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
3. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
4. 擁壁の掘入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
5. 水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所、路面から20cmの位置で約φ75を使用すること。
6. コンクリートの水平打継目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に配置すること。なお数量は別途計上すること。
7. 擁壁前面のV型の切れ目を持つ鉛直施工自地の間隔は5m以下とすること。
8. 伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
9. 伸縮目地は鋼繊維強化自地を使用すること。



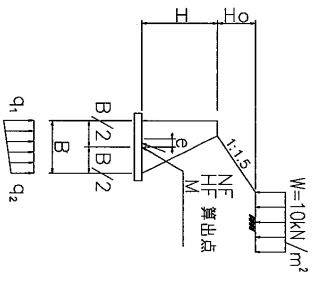


重力式擁壁 車道部



数値表(1m当り)

Qd (砕石支持力) (KN/m <sup>2</sup> )	B (底面幅) (m)	Ho/H (高さ比)	NF (鉛直力) (KN)	HF (水平力) (KN)	M (モーメント) (KN・m)	e (偏心量) (m)	地盤反力(KN/m <sup>2</sup> )		FS (滑動安全率)	RW (断面形状番号)
							q <sub>1</sub>	q <sub>2</sub>		
300	1.45	水平	67.56	22.75	14.86	0.220	88.99	4.19	1.78	RW 9
		0.25	72.86	27.58	16.09	0.221	96.15	4.34	1.59	RW 0
		0.50	91.96	32.87	16.23	0.177	87.79	20.40	1.68	
150	1.70	水平	79.50	23.49	15.16	0.191	78.23	15.30	1.69	RW 0
		0.25	86.36	28.66	15.75	0.182	83.50	18.11	1.51	RW 10
		0.50	104.53	33.69	14.77	0.141	79.56	30.47	1.55	
100	1.90	水平	79.50	23.49	15.16	0.191	78.23	15.30	1.52	RW 10
		0.25	97.70	29.24	14.87	0.152	76.13	26.71	1.50	RW 11



- 注)
1. 使用にあたっては設計を熟読のこと。
  2. 重力式擁壁は、高さ許容支持力、背面の盛土形状などの設計条件から該当する断面形状を選定すること。
  3. 背面の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
  4. 擁壁の埋入れ深さは、原則として50cm以上は確保すること。
  5. 水抜パイプは、原則として2~3m<sup>2</sup>程度に1ヶ所、路面から20cmの位置で設け、VPφ75を使用すること。
  6. コンクリートの水平打継目には、用心鉄筋としてD16mmを50cm間隔程度に設置すること。なお数量は別途計上すること。
  7. 擁壁前面のV型の切れ目を持つ鉛直施工地の間隔は5m以下とすること。
  8. 伸縮目地の間隔は10m以下とすること。
  9. 伸縮目地は標準繊維質目地を使用すること。

015

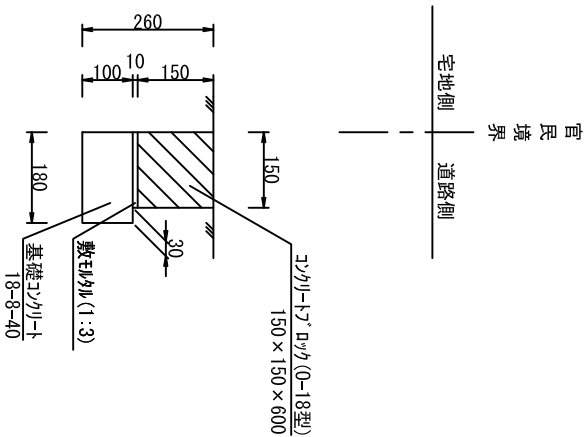
道路構造物標準図

重力式擁壁(6) 車道部

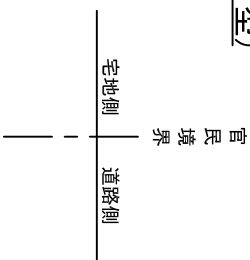
みち・みどり整備室

# 官民境界

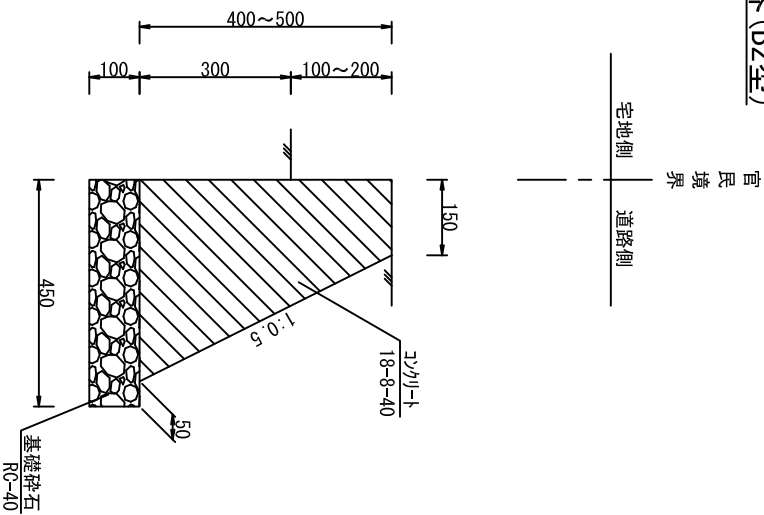
## 官民境界(A型)



## 官民境界(B1型)



## 官民境界(B2型)



注) 1. 伸縮目地は10mごとに設けること。

2. 伸縮目地は遷青織維目地を使用するものとする。

注) 道路側が車道の場合は擁壁構造図を使用すること。

016

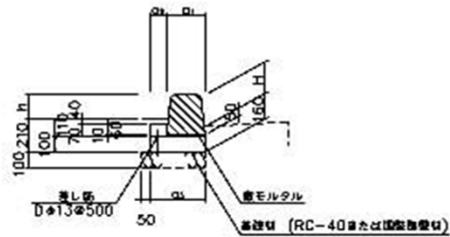
道路構造物標準図

官民境界

みち・みどり整備室

# 縁石 (1)

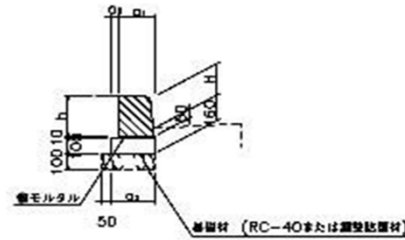
**A型**  
(セミフラット形式、一般部)



寸法表

記号	A-1	A-2
H	150	200
h	100	150
a <sub>1</sub>	190	230
a <sub>2</sub>	100	100
a <sub>3</sub>	290	330

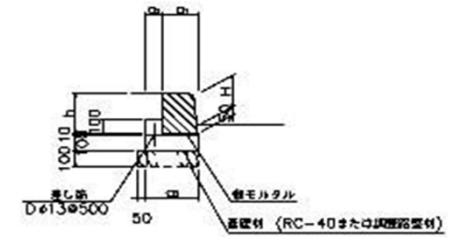
**B型**  
(マウンドアップ形式、一般部)



寸法表

記号	B-1	B-2
H	150	200
h	200	250
a <sub>1</sub>	170	205
a <sub>2</sub>	50	45
a <sub>3</sub>	220	250

**C型**  
(背面が植樹帯等の場合)



寸法表

記号	C-1	C-2
H	150	200
h	200	250
a <sub>1</sub>	170	205
a <sub>2</sub>	100	95
a <sub>3</sub>	270	300

017

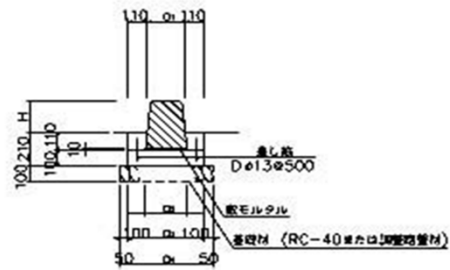
道路構造物標準図

縁石 (1)

みち・みどり整備室

## 縁石 (2)

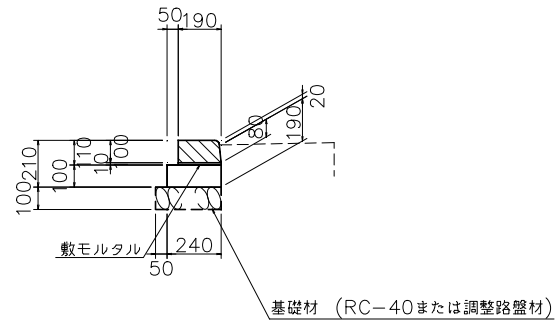
**D型**  
(フラット形式、一般部)



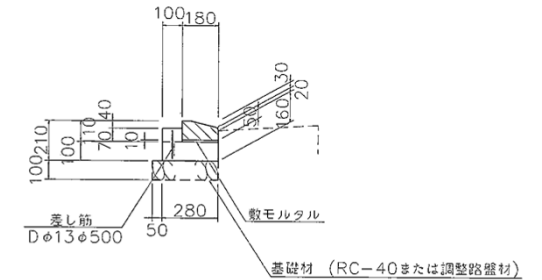
寸法表

寸法	D-1	D-2
H	150	200
$\phi_1$	210	220
$\phi_2$	230	240
$\phi_3$	430	440
$\phi_4$	530	540

**E型**  
(歩道切下げ部)



**G型**  
(車両出入口部)



018

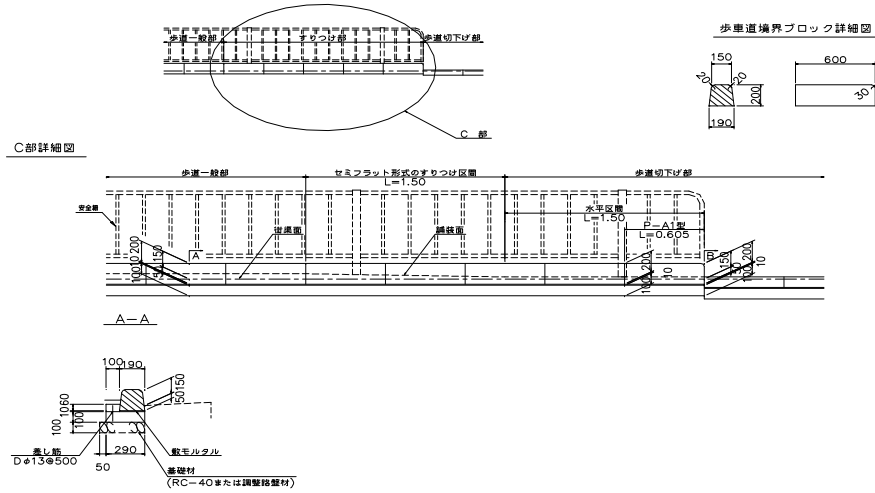
道路構造物標準図

縁石 (2)

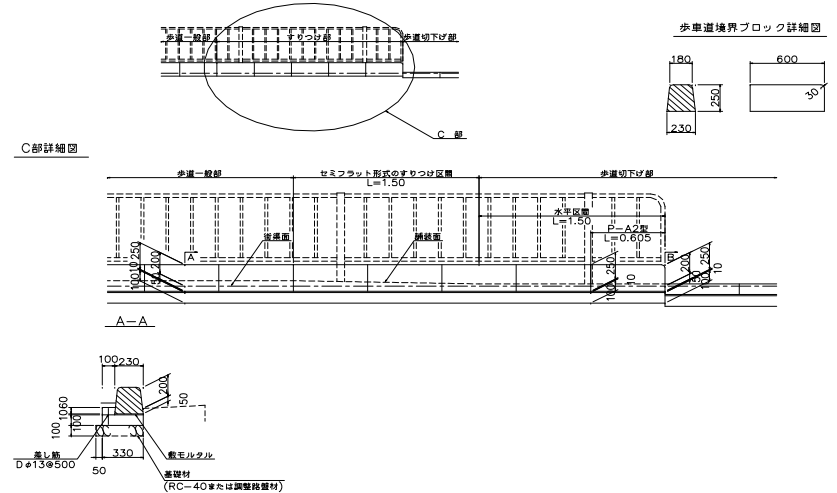
みち・みどり整備室

# 縁石 (3)

**P-A1型**  
(セミフラット形式・交差点、横断歩道)



**P-A2型**  
(セミフラット形式・交差点、横断歩道)



019

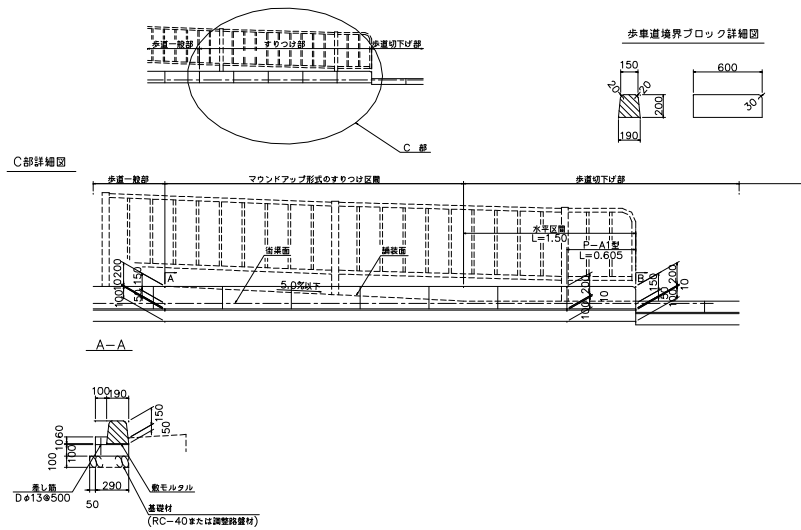
道路構造物標準図

縁石 (3)

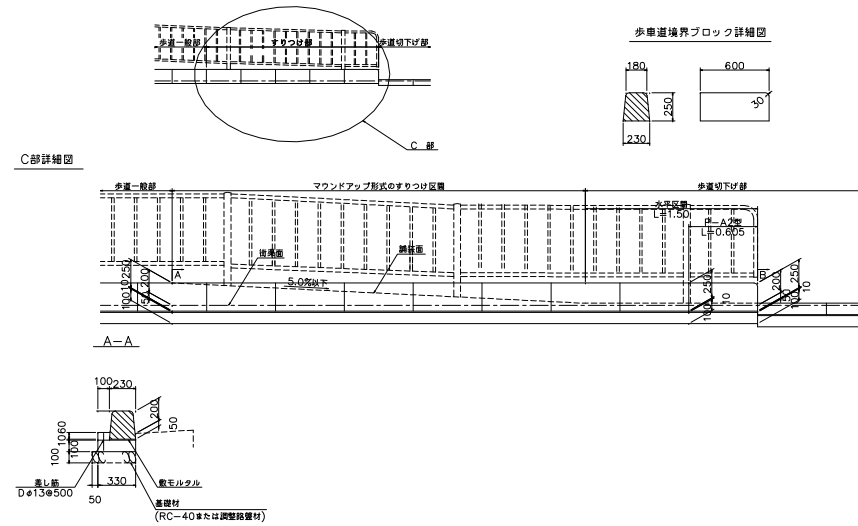
みち・みどり整備室

# 縁石 (4)

**P-A1型**  
(マウンドアップ形式・交差点、横断歩道)



**P-A2型**  
(マウンドアップ形式・交差点、横断歩道)



020

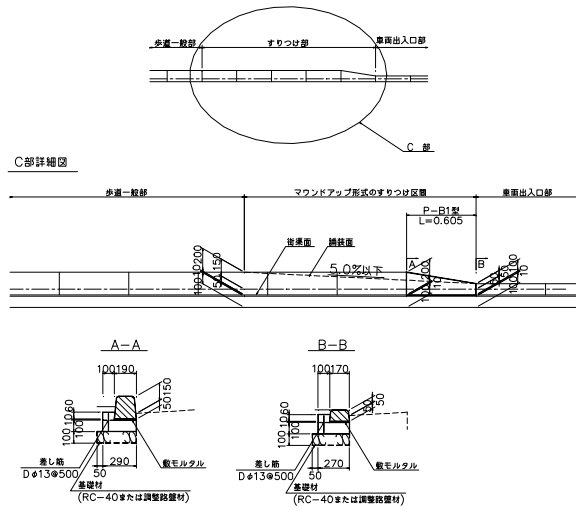
道路構造物標準図

縁石 (4)

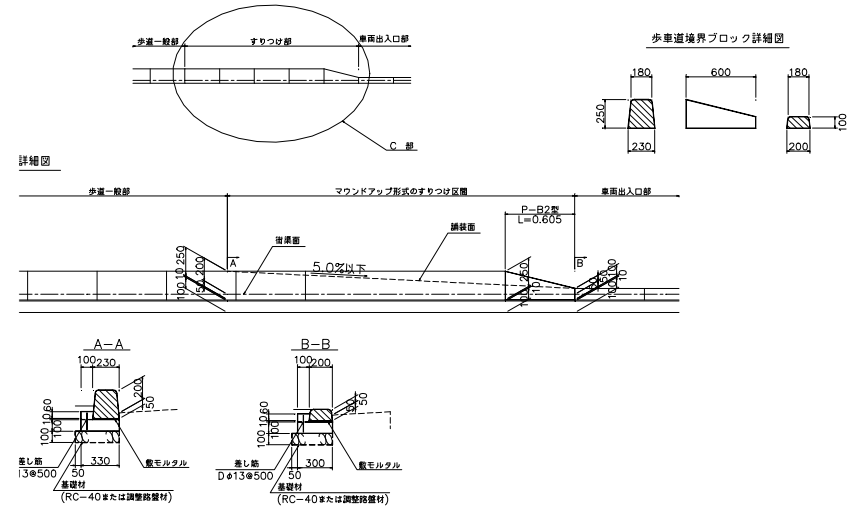
みち・みどり整備室

# 縁石 (5)

**P-B1型**  
(マウンドアップ形式・車両出入口部)



**P-B2型**  
(マウンドアップ形式・交差点、横断歩道)



021

道路構造物標準図

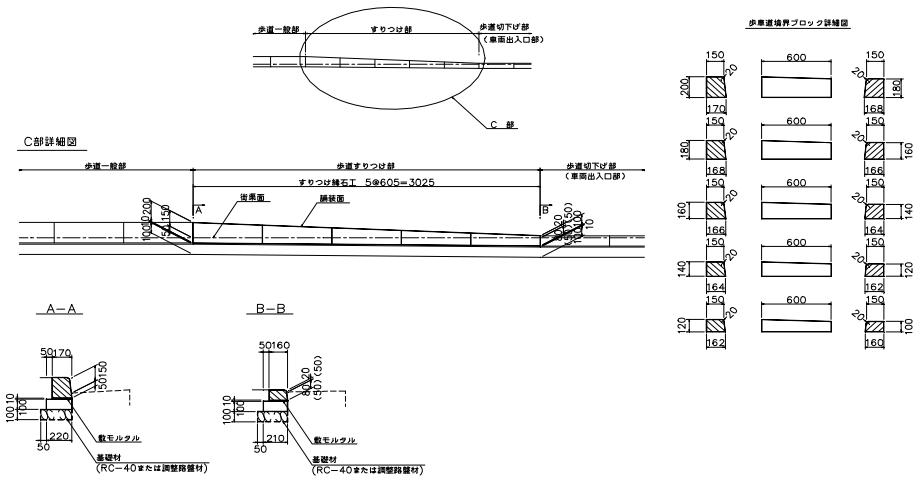
縁石 (5)

みち・みどり整備室

# 縁石 (6)

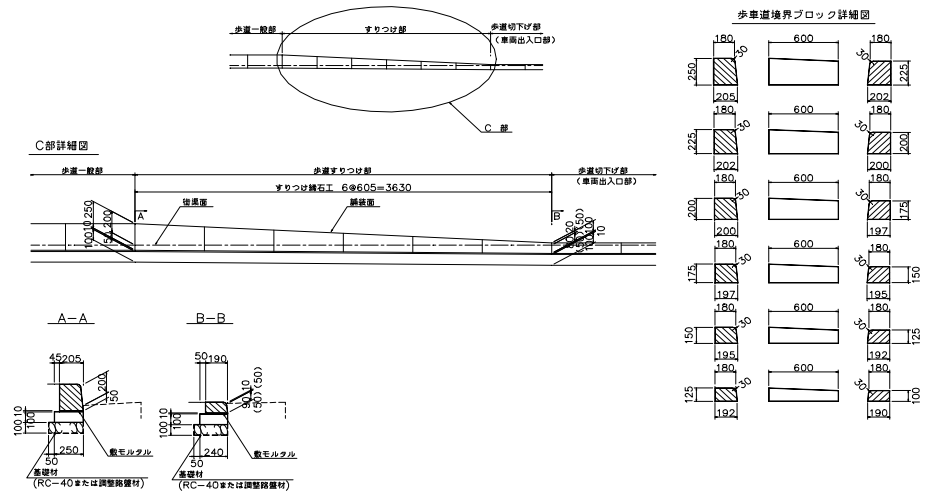
## P-C1型

(マウンドアップ形式・歩道幅員の狭い場合: 2.5m未満)



## P-C2型

(マウンドアップ形式・歩道幅員の狭い場合: 2.5m未満)

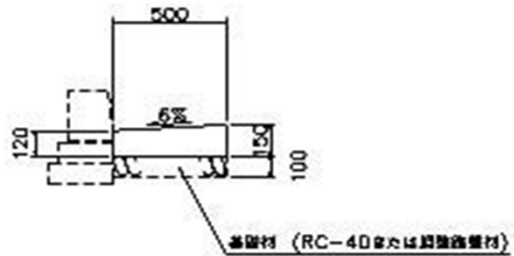




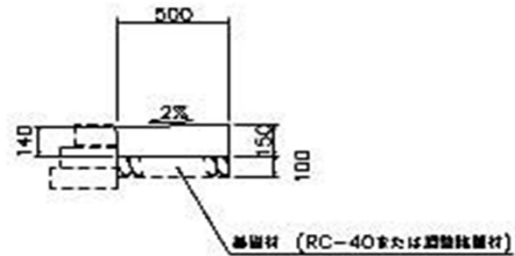
# 街渠 (1)

A,B交通の場合

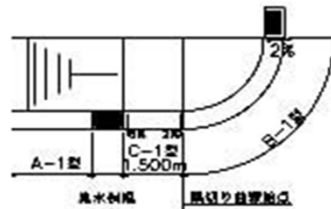
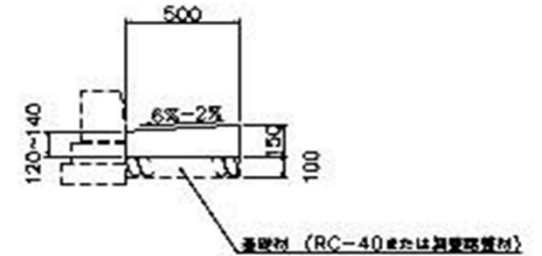
A-1型  
(一般部、車両出入口部)



B-1型  
(歩道切下げ部)



C-1型  
(すりつけ部)



023

道路構造物標準図

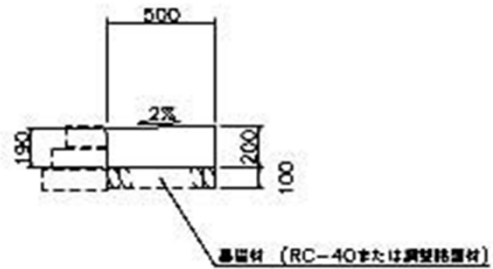
街渠 (1)

みち・みどり整備室

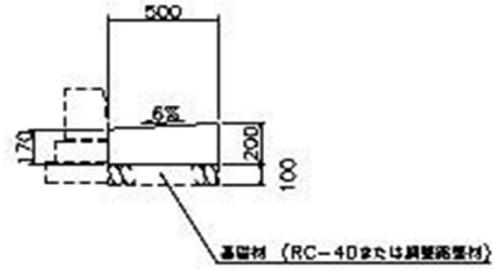
## 街 渠 (2)

C交通の場合

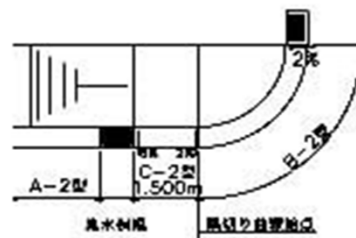
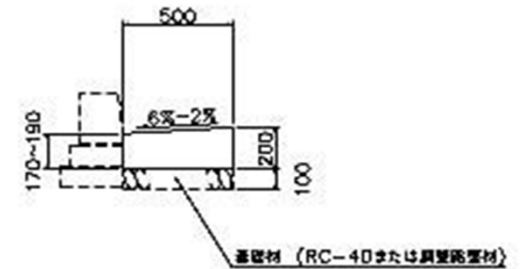
A-2型  
(一般部、車両出入口部)



B-2型  
(歩道切下げ部)



C-2型  
(すりつけ部)



024

道路構造物標準図

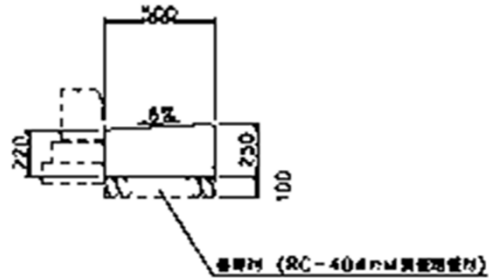
街 渠 (2)

みち・みどり整備室

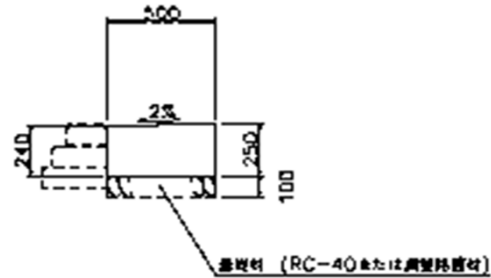
# 街渠 (3)

D交通の場合

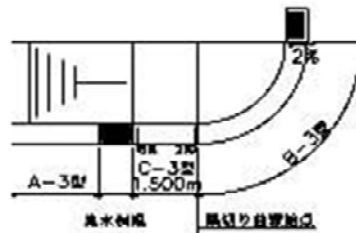
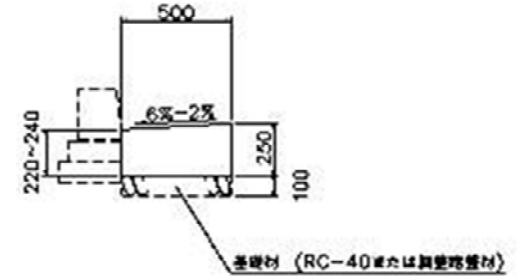
A-3型  
(一般部、車両出入口部)



B-3型  
(歩道切下げ部)



C-3型  
(すりつけ部)



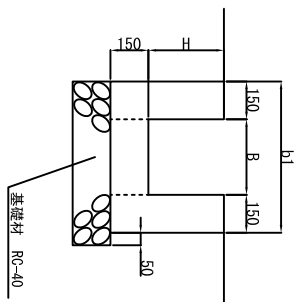
025

道路構造物標準図

街渠 (3)

みち・みどり整備室

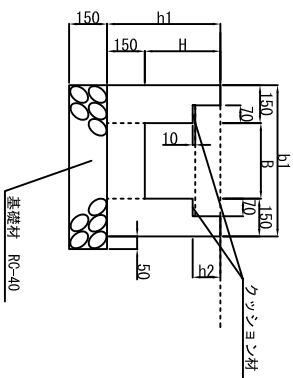
### U型側溝 (U-1型)



記号 (B×H)	寸法表				材料表 (10m当り)				摘要
	B	H	b1	h1	基礎材 (m <sup>2</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	ゴクリ+ (m <sup>2</sup> )	伸縮目地 (m)	
300×300	300	300	600	450	6.50	18.00	1.80	0.14	
300×400	300	400	600	550	6.50	22.00	2.10	0.17	
300×500	300	500	600	650	6.50	26.00	2.40	0.20	
400×400	400	400	700	550	7.50	22.00	2.25	0.17	
400×500	400	500	700	650	7.50	26.00	2.55	0.20	
450×450	450	450	750	600	8.00	24.00	2.48	0.18	
500×500	500	500	800	650	8.50	26.00	2.70	0.20	

### U型側溝 (U-3型)

※ゴクリ+はボルト止めとする。



記号 (B×H)	寸法表				材料表 (10m当り)				摘要
	B	H	b1	h1	基礎材 (m <sup>2</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	ゴクリ+ (m <sup>2</sup> )	伸縮目地 (m)	
300×300	300	300	600	450	6.50	18.00	1.65	1.52	
300×400	300	400	600	550	110	6.50	22.00	1.95	1.55
300×500	300	500	600	650	110	6.50	26.00	2.25	1.58
400×400	400	400	700	550	120	7.50	22.00	2.08	1.55
400×500	400	500	700	650	120	7.50	26.00	2.38	1.58
500×500	500	500	800	650	130	8.50	26.00	2.52	1.58

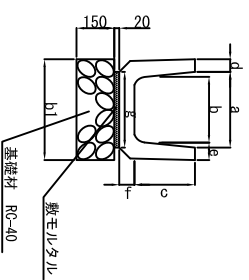
026

道路構造物標準図

U型側溝

みち・みどり整備室

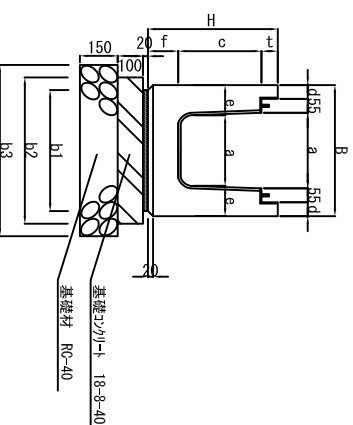
### 鉄筋コンクリート側溝 (U-1型)



呼び名	寸法 (mm)										
	a	b	c	d	e	f	g	r	b1	b2	b3
100	100	90	100	30	35	35	110	20	210		
150	150	140	150	30	35	35	160	30	260		
180	180	170	180	35	40	40	190	50	290		
240	240	220	240	45	50	50	240	50	340		
300A	300	280	240	50	60	60	300	50	400		
300B	300	260	300	50	60	60	300	50	400		
300C	300	280	360	50	60	65	300	50	400		
360A	360	310	300	50	65	65	360	50	460		
360B	360	310	360	50	65	65	360	50	460		
450	450	400	450	55	70	70	430	70	530		
600	600	540	600	70	80	80	600	70	700		

### 鉄筋コンクリート側溝 (U-3型)

※「グレーチング」はボルト止めとする。



呼び名	寸法 (mm)											
	a	b	B	H	c	d	e	f	t	b1	b2	b3
6250	250	230	460	455	280	50	115	115	60	420	520	620
6300A	300	280	520	515	330	55	120	120	65	480	580	680
6300B	300	270	520	620	430	55	125	125	65	480	580	680
6300C	300	260	520	725	530	55	130	130	65	480	580	680
6400A	400	370	630	640	440	60	130	130	70	590	690	790
6400B	400	360	630	745	540	60	135	135	70	590	690	790
6500A	500	460	750	770	545	70	145	145	80	710	810	910
6500B	500	450	750	875	645	70	150	150	80	710	810	910

027

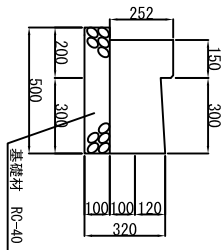
道路構造物標準図

U型側溝 (2次製品)

みち・みどり整備室

# L型側溝

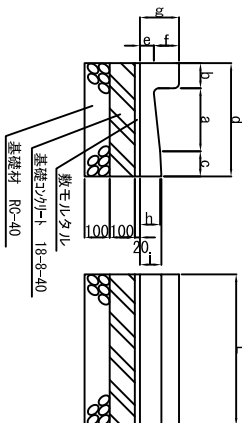
## 現場打ち



材料表 (10m当り)				摘要
基礎材 (m)	型枠 (m)	コケート (m)	伸縮目地 (m)	
5.20	3.20	0.80	0.07	

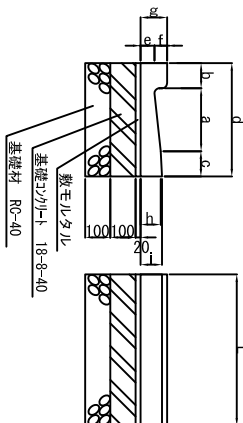
## コケート二次製品

### 基本



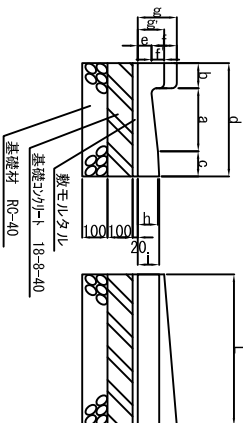
呼び名	寸法 (mm)										
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	L	
250A	250	100	—	350	55	100	155	80	—	600	
250B	250	100	100	450	55	100	155	80	85	600	
300	300	100	100	500	55	100	155	85	90	600	
350	350	100	100	550	55	100	155	90	95	600	

### 乗入れ



呼び名	寸法 (mm)										
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	L	
250A	250	100	—	350	55	50	105	80	—	600	
250B	250	100	100	450	55	50	105	80	85	600	
300	300	100	100	500	55	50	105	85	90	600	
350	350	100	100	550	55	50	105	90	95	600	

### 斜型



呼び名	寸法 (mm)										
	a	b	c	d	e	f	f'	g	g'	h	L
250A	250	100	—	350	55	100	50	155	105	80	600
250B	250	100	100	450	55	100	50	155	105	80	600
300	300	100	100	500	55	100	50	155	105	85	600
350	350	100	100	550	55	100	50	155	105	90	600

028

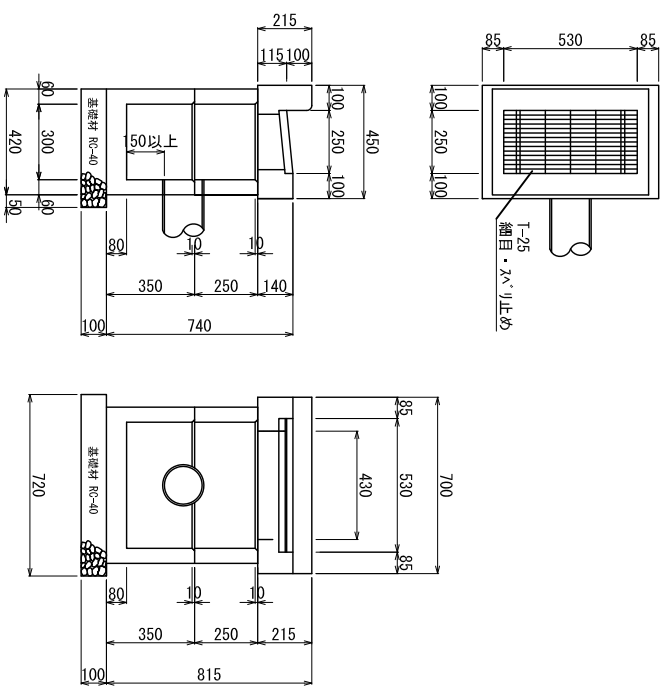
道路構造物標準図

L型側溝(1)

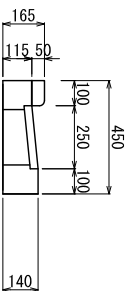
みち・みどり整備室

## L型側溝柵

L型集水柵 (300×500)



L型集水柵 (H50947<sup>®</sup>)



※ケレシヤグ<sup>®</sup>のボルト固定については別途協議とする  
 ※その他L型側溝を使用した場合の雨水柵は別途協議とする  
 ※現場打ち柵を使用する場合は別途協議とする

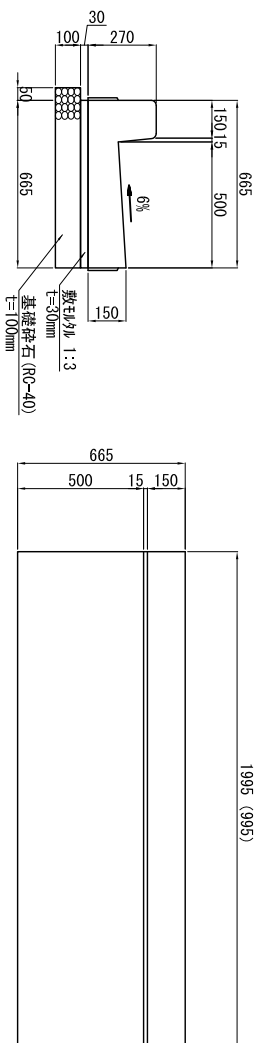
029

道路構造物標準図

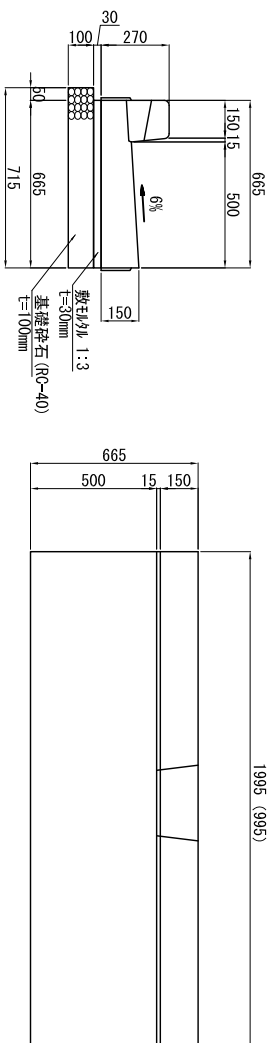
L型側溝(2)

みち・みどり整備室

セキライト型PC街渠一般 (PGF515-A)



セキライト型PC街渠水抜き (PGF515-W-A)



030

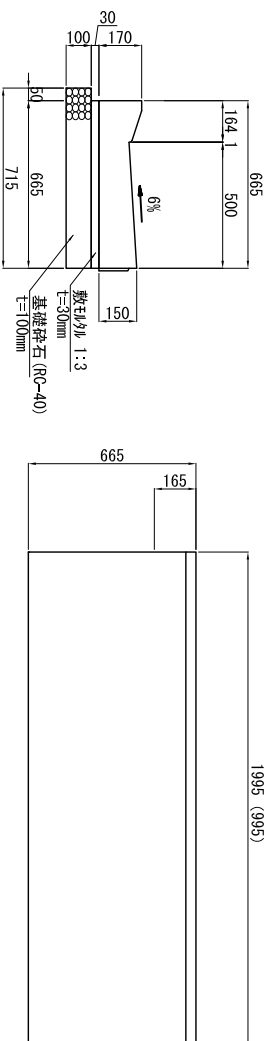
道路構造物標準図

L型側溝(3)

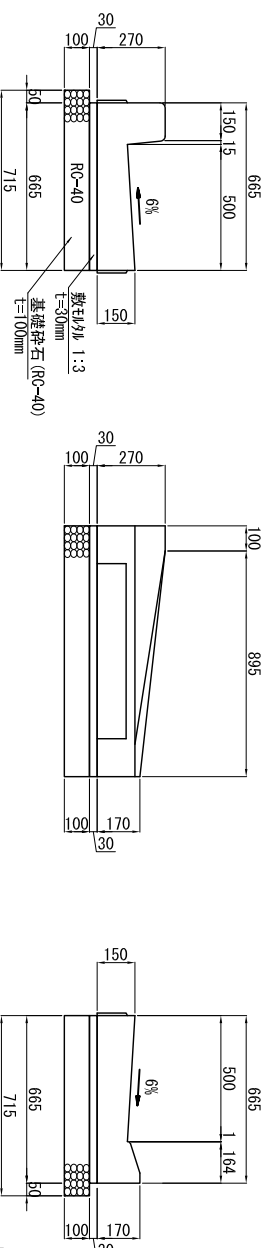
みち・みどり整備室



セキライト型PC街渠乗入 (PGF515-N-A3)



セキライト型PC街渠斜 (PGF515-S-A-A3)



031

道路構造物標準図

L型側溝(4)

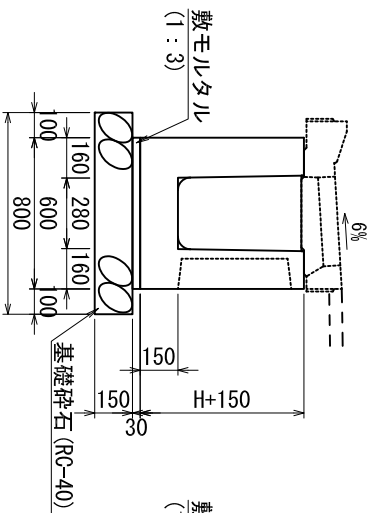
みち・みどり整備室

街渠柵

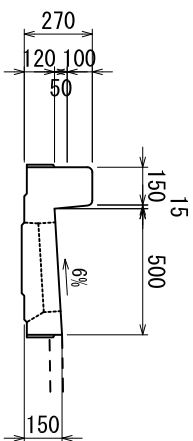
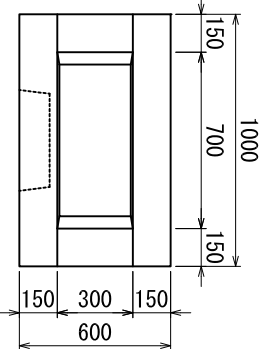
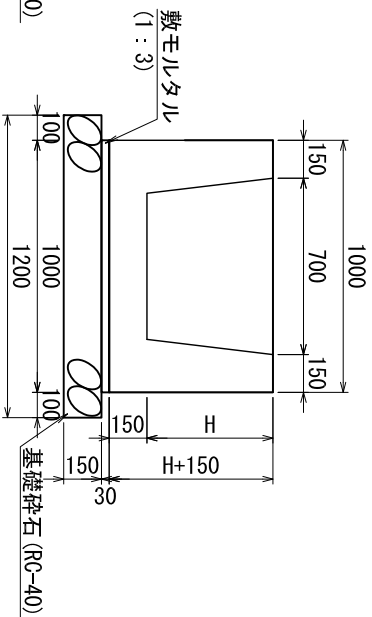
PGM-50・60・70・80

断面

側面

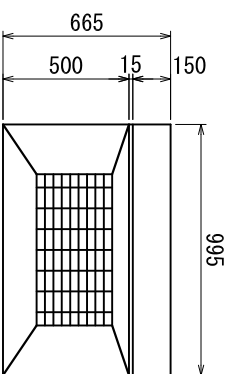
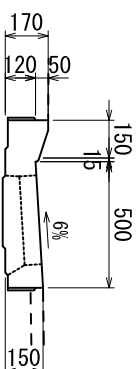
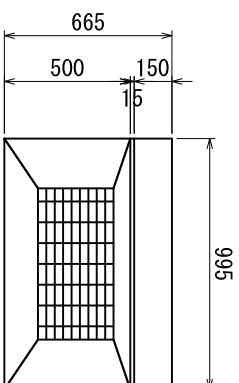


	H (mm)
PGM-50	500
PGM-60	600
PGM-70	700
PGM-80	800



PC街渠柵 (PGUF-G-A)  
グレーチング蓋付(細目)  
ボルト固定

PC街渠柵 (PGU-NG-A3)  
グレーチング蓋付(細目)  
ボルト固定



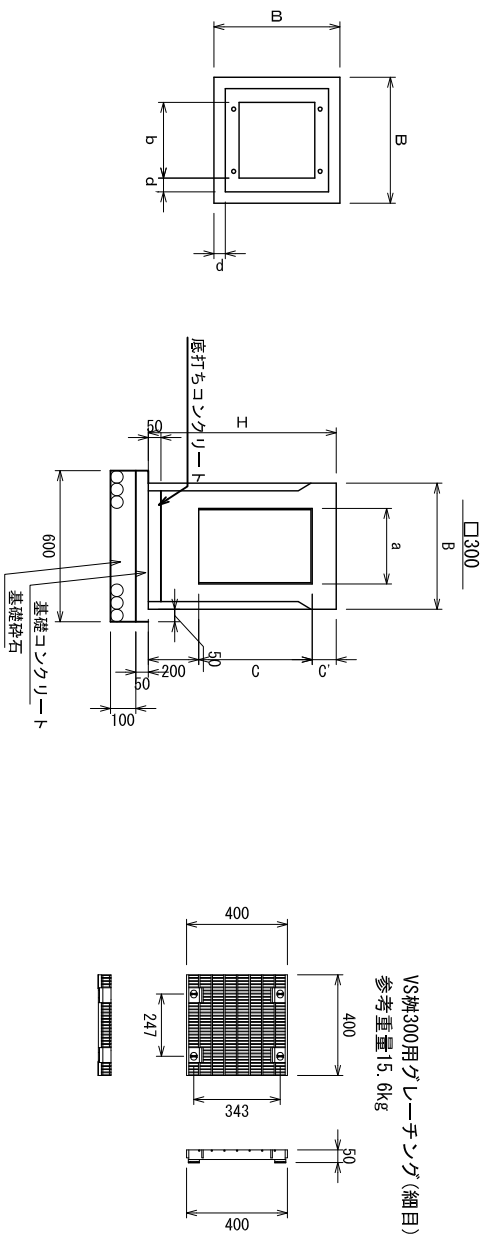
032

道路構造物標準図

街渠柵 (1)

みち・みどり整備室

街渠柵 (2) (同等品以上)



300サイズ

単位 (mm)

呼び名	B	H	A	e	a	c	c'	d	d'	b	重量 (kg)
300×300×300	500	645	400	50	300	350	95	45	55	300	150
300×300×400	500	745	400	50	300	450	95	45	55	300	165
300×300×500	500	845	400	50	300	550	95	45	55	300	181
300×300×600	500	945	400	50	300	650	95	45	55	300	196
300×300×700	500	1045	400	50	300	750	95	45	55	300	212
300×300×800	500	1145	400	50	300	850	95	45	55	300	227
300×300×900	500	1245	400	50	300	950	95	45	55	300	243
300×300×1000	500	1345	400	50	300	1050	95	45	55	300	258
300×300×1100	500	1445	400	50	300	1150	95	45	55	300	274

033

道路構造物標準図

街渠柵 (2)

みち・みどり整備室